

大谷學報

第六十二卷 第三号

昭和五十七年十二月十五日発行

キエルケゴールにおける

「魔的なもの」について……………大屋 憲一 (1)

現生正定聚の境位……………小野 蓮明 (14)

大乘阿毘達磨集論 (Abhidharmasamuccaya) 並びに
Abhidharmasamuccaya-bhāṣya の和訳
……………舟橋 尚哉 (29)

スタンダール作品

『アルマンス』の樹木について……………加来 一丸 (42)

近世土御門家の

陰陽師支配と配下陰陽師……………木場 明志 (54)

彙 報…………… (68)

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第六十二巻 第二号

還相回向と正定聚……………本多 弘之

ハンスリックとベートーヴェン……………滝本 裕造

堂巡りと神憑け……………豊島 修

——美作のヤセゴセについて——

歴史主義的知識社会学の視座……………千葉 芳夫

近世勸化本の展開……………後小路 薫

——四十八願を主題とするもの——

昭和五十七年度 春季公開講演要旨

近代仏教学ということ……………大谷大学教授 桜部 建

昭和五十六年度 特別研究員研究発表要旨

新刊紹介

大谷学会編

大谷大学研究年報 総目録

仏教研究（第一巻第一号～第八巻第四号）

大谷学報（第九巻第一号～第六十巻第四号）

大谷大学研究年報（第一集～第三十三集）

に掲載された論文、書評、講演要旨などを収録

〈論文目録〉真宗学／仏教学／哲学／社会学／教育学／心理学／史学／文学／法学・政治学／図書館学／自然科学／保健体育学。

春季公開講演要旨／秋季公開講演・研究発表要旨／書評／新刊紹介／追憶・年譜など。巻末に執筆者索引を付す。

（A5版・二二六頁・一九八二年七月刊・八〇〇円）

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

CONTENTS

Articles :

The Demoniactal in Kierkegaard*Toshikazu Ōya* (1)

Shinran's Concept of Right Definite Assurance.....*Renmyō Ono* (14)

A Japanese Translation of the *Abhidharmasamuccaya*
and *Abhidharmasamuccaya-bhāṣya**Naoya Funahashi* (29)
—with special reference to
the Dharmavinīśaya section—

Sur les Arbres dans *Armance* de Stendhal.....*Hitomaru Kaku* (42)

Tsuchimikado Influence over Yin-Yang Masters
in Modern Times*Akeshi Kiba* (54)

Miscellaneous

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY
OTANI UNIVERSITY
KYOTO, JAPAN

大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗宗・仏教学・哲学・社会学・史学・文学、その他の學術研究と發表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要な事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもつて会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

三、監事

第六条 会長には大谷大学学長が当り、会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 1、監事は二名とし、教授会において互選する。任期は二年とする。

2、監事は本会の会計を監査する。

第九条 会員は本会の出版物にその研究を發表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第一〇条 会員の会費は年額金四千元とする。但し、学生会員は貳千元とする。

第十一条 1、本会の経費は会費をもつてこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十二条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十三条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和五十六年四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

大谷学会役員

委員 岩見 至 大屋 憲一

桜部 建 高橋 憲昭

友田 孝興 名畑 崇

広瀬 英一 福島 光哉

箕浦 恵了 山本 唯一

昭和五十七年十二月十五日発行

編集兼 大谷学会

発行者 訓 覇 嘩 雄

印刷者 西 村 明

京都市北区小山上総町

大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都一八三九三番

電話(〇七五)四三二一三二一代

郵便番号 六〇三